

○社会教育部長よりあいさつの後、各委員及び事務局職員の紹介

○中山荘園古墳の整備について

事務局より整備状況と今後の計画を説明。委員からの意見は下記のとおり。

計画図を見ると階段がきつuitと感じる。階段の下側に、登って古墳を見たくくなるような説明板の設置を。身障者のことも配慮して踊り場で階段をずらすなどの措置はとれないか。階段が古墳のイメージを変えてしまう可能性がある。人為的な整備で古代の雰囲気ではないし日本的でもない。

アカマツなどを植栽することにより、自然な感じにすることができればいいのではないか。

マンションの階段側に非常口を設けることはできないか。

自動車では来ることができないので（駐車場がないため）駅からの案内板を設置してはどうか。

来年度報告書をつくる際には、マンション工事以前の地形がわかるようなものや墓道の復元などを考慮してみてはどうか。

○登録文化財候補について

事務局より登録候補物件の概要について説明。委員からの意見は下記のとおり。

クロガネモチなどの庭木の伝統的・民俗的な信仰が残っており、建物だけでなく樹木の配置図をつくるなど敷地全体として保存していく必要があるのではないか。

税金面の考慮などは家屋に対してのものが中心でありまだまだである。

○その他の意見等

神社などを森も含めて文化的な景観として保全していくことが望まれる。神社の本殿は保護を意識しすぎるあまり覆い屋で隠してしまっており、ほとんど見る事ができない。子供たちに対する教育効果も無くなってしまっているため、今後はもっと本殿に近寄れたり、見る事ができる状況をつくっていく必要がある。

丸山湿原は兵庫一とも考えられる貴重な自然が残っている。県が里山整備で道をつける予定をしているが、その後誰がどのように守っていくかがはっきりしていない。教育委員会と公園担当・環境担当等との連携が必要である。

○登録文化財候補物件視察